

世界遺産の古都チェスキー・クルムロフから「真正バロック・オペラ」初来日!!

ヘンデル・オペラの名アリア

優雅で幻想的なバロック演技と豪華衣装 / 解説付き / 字幕付き

2009

11/21

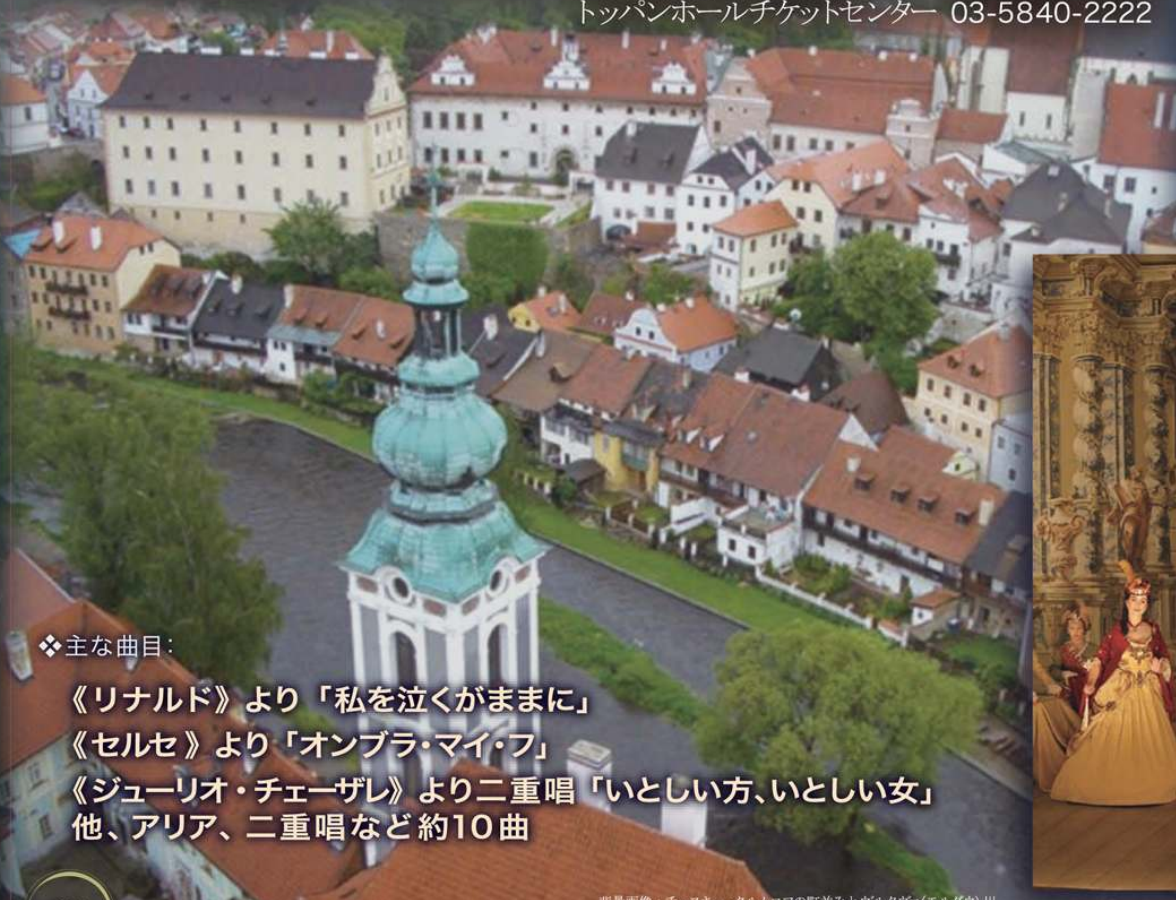
トッパンホール

(土) 14:00開演(13:30開場)

全席指定 **9,000**円 【チケット取り扱い】アレグロミュージック 03-5216-7131
トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222



城のシンボルタワー



背景画像：チェスキー・クルムロフの町並みとウルタヴァ(モルダウ)川



城内劇場におけるオペラ上演風景

◆主な曲目:

- 《リナルド》より「私を泣くがままに」
- 《セルセ》より「オンブラ・マイ・フ」
- 《ジュリオ・チェザレ》より二重唱「いとしい方、いとしい女」
- 他、アリア、二重唱など約10曲

出演



オンジェイ・マツェク
(チェンバロ/指揮)



スザナ・ヴルボヴァー
(演出)



ヤナ・ピーンヴァー・コウツカー
(ソプラノ)



ヴェロニカ・ムラー・チュコヴァー・フチーコヴァー
(メゾ・ソプラノ)




ロザリーエ・コウサリーコヴァー
(チェロ)

キャノンズ・コンサート室内管弦楽団

主催：ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会
制作統括/監修：三澤 寿喜

助成：財団法人朝日新聞文化財団 財団法人 **花王** 芸術・科学財団
協力：久保田チェンバロ工房 池上ルーテル教会

後援：駐日チェコ共和国大使館 Czech Centre Tokyo  アメリカ・ヘンデル協会
インターナショナル・ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル協会(ドイツ、ハレ) ヘンデル・ハウス財団(ドイツ、ハレ)
マネージメント：アレグロミュージック 03-5216-7131

ヘンデル・オペラの名アリア

ヘンデル・フェスティバル・ジャパン 没後250年記念企画 第3弾

HFJのこれまでの歩みと記念年企画

HFJは没後250年となる2009年を目標として2003年から活動を開始しました。これまで器楽から声楽(オペラ、オラトリオ、教会作品)に至る広範なプログラミングと質の高い演奏で注目を集めてきました。記念年となる第7回(2009年度)は全4企画によりヘンデルの偉業を称えます。本企画「チェスキー・クルムロフ真正バロック・オペラ招聘公演」はその第3弾です。

本物のバロック・オペラ：三澤寿喜

今日、ヨーロッパの主要歌劇場ではヘンデル・オペラがレパートリーとして定着し、頻りに上演されています。しかし、それらにおいては、音楽は当時のまま(authentic 真正な=古楽)でありながら、演技、衣装、背景などは過激なモダン演出が主流です。それは決して本物のバロック・オペラではありません。

チェコのチェスキー・クルムロフ城内では18世紀半ばに建てられたバロック劇場が当時のままに復元され、バロック・オペラを音楽、劇場、機械装置、照明、背景、衣装、演技もすべて当時のままに再現する試みが行われています。そこで、HFJはチェスキー・クルムロフ城内劇場「真正バロック・オペラ」を招聘し、ヘンデル・オペラの名アリアや名二重唱をバロック演技(「ジェスチュア」)と豪華衣装により紹介します。

「ジェスチュア」は1600年代から1800年代初頭まで、舞台(演劇やオペラ)で行われていた演技様式で、特定の感情を特定の所作によって表現するものです。その根底にあるのは「日常の動作をそのまま模倣する演技は決して芸術的ではない」とするバロック的思想で、バロック絵画や彫刻同様、不自然に捻った姿勢と表情豊かな手や腕の動きで、深く凝縮された感情を表現します。

優れたジェスチュアとは、優れた絵画や彫刻の人物同様、言葉がなくとも、すべてを語り尽くすものです。バロックの優れたオペラ作曲家はジェスチュアを想定して作曲したばかりか、歌手に優れたジェスチュアの機会をも提供していました。偉大なオペラ作曲家ヘンデルがそうしなかった筈がないのです!!

台本・音楽・演技が一体化したとき、初めてバロック・オペラの本物の魅力が甦ります。チェスキー・クルムロフ城内劇場で、長年バロック・オペラを上演しているO. マツェク氏とその仲間達が、味わい深い演奏と熟練のジェスチュア、城から持参の豪華衣装により、今、本物のヘンデル・オペラの魅力を引き彫りにします。

出演者プロフィール

Ondřej Macek オンジェイ・マツェク (指揮/チェンバロ)

幼少期からピアノと作曲を学び、カレル大学(プラハ)とマサリク大学(ブルノ)で音楽学を学ぶ。1991年、古楽アンサンブル「カペラ・アカデミカ」を創設、その後、名称を「ホーフ・ムジチ」(宮廷楽士)に変更。マサリク大学で教鞭を執りながら、チェスキー・クルムロフ城内劇場バロック・オペラの音楽監督を務め、04年5月にはゲッティンゲン・ヘンデル・フェスティバルにて、ヘンデルのオペラ《ソザルメ》を舞台上演し、好評を博す。

Jana Bínová Koucká ヤナ・ビーノヴァー・コウツカー(ソプラノ)

プラハ音楽院とプラハ芸術アカデミーAMUで声楽を学んだのち、オーストリア、オランダでも研鑽を積む。オンジェイ・マツェク氏の「ホーフ・ムジチ」(宮廷楽士)とは常にプリマとして共演し、これまでに数々のバロック・オペラやオラトリオを歌う。04年5月、ゲッティンゲン・ヘンデル・フェスティバルでの《ソザルメ》ではヒロイン、エルヴィラ役で大成功を取めた(ジェスチュア付き)。チェコのラジオやテレビでの出演多数。欧州各地での演奏会も多数。

Rozálie Kousalíková ロザーリエ・コウサリーコヴァー(チェロ)

クロムコエーシュ音楽院とオストラヴァ大学にてチェロを学ぶ。欧州各地の主要マスター・コースに参加。「ムジカ・ボエティカ」、「ムジカ・ペリッシマ」、「コンチェルティノ・アヴェンティーノ」などの古楽アンサンブルに加わっている。06年以来、オンジェイ・マツェク氏率いるバロック・アンサンブル「ホーフ・ムジチ」の首席コンティス・チェリストを務めている。

Zuzana Vrbová スズナ・ヴルボヴァー(演出/ジェスチュア指導)

テプリツェ音楽院にて声楽を学び、プラハにて古楽理論と解釈を学ぶ。1996年以後、当時資料に基づくジェスチュア研究を開始、ドイツのカルスルーエ国際ヘンデル・アカデミーで研究を続け、バロック・オペラの演出家として「プラハの春」、ゲッティンゲン・ヘンデル・フェスティバルなどで「ホーフ・ムジチ」と共演。07年、「テアトロ・アッラ・モーダ連盟」を共同設立し、バロック・オペラの舞台研究の推進と上演支援を行っている。

Veronika Mráčková Fučíková ヴェロニカ・ムラーチコヴァー・フチコヴァー(メソソプラノ)

ブルノ音楽院とプラハ音楽院にて声楽を学んだ。オルロスキー公爵(「こもり」)、ケルビーノ(「フィガロの結婚」)などのほか、チェコの現代音楽にも積極的に取り組んでいる。03年、アントニン・ドヴォジャーク国際声楽コンクールで入賞。08年、チェスキー・クルムロフ・バロック劇場とヴェネツィアにて「ホーフ・ムジチ」と共演し、ヴィヴァルディのオペラ《アルジッポ》(現代初演)の表題役で、ジェスチュアと歌唱が絶賛を博した。

キャンズ・コンサート室内管弦楽団 CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA (HFJ専属)

廣海史帆 (Vn)、天野寿彦 (Vn)、藤原歌花 (Va)、西本俊介 (Cb)

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol.7 (HFJ 2009)
THEME: "The 250th Anniversary of Handel's passing"
PROJECT III
AUTHENTIC BAROQUE OPERA FROM ČESKÝ KRUMLOV CASTLE THEATRE
14:00, Saturday 21st November, 2009
TOPPAN HALL, Tokyo
Tickets: ¥9,000

モットー：激情人、劇場人、ヘンデル
MOTTO: HANDEL, A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE

● HFJ没後250年記念第4弾

世界の巨匠ホグウッド氏招聘公演

2010年2月13日(土) 15:00 開演予定 浜離宮朝日ホール

オラトリオ《陽気の人、ふさぎの人》HWV55 より 第1部、第2部
オード《聖セシリアの祝日のためのオード》HWV76

指揮：クリストファー・ホグウッド
独唱：佐竹由美、波多野睦美、辻裕久、牧野正人、他
キャンズ・コンサート室内管弦楽団&合唱団



クリストファー・ホグウッド

HFJを支援する会 (HANDELIAN)

年会費1口1万円。会員特典はHFJの公演プログラムへのお名前記載(ご希望により)、HFJの主催公演の優先予約と割引(概ね3割引き)、公演プログラム贈呈、演奏者や研究者との交流、リハーサル見学、会員番号としてお好きなヘンデル作品番号HWVの取得(先着順、重複不可)などがあります。お申し込み、お問い合わせ: HFJ支援会事務局 jimukyoku@handel-f-j.org

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR有楽町線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(日1出口)より徒歩約15分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上89] [飯64] [大南]または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下鉄車通をご利用いただけます。(各駅ご乗降場別詳細あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道3-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
E-mail:info@toppanhall.com http://www.toppanhall.com/

